⑵　各種アンケート調査

平成24年度においては、国民各層、民間企業及び職員を対象に、公務員倫理に関するアンケート調査を実施した。

各種アンケート調査結果の概要は、次のとおりである。

・市民モニターに対するアンケート

アンケートリサーチ業者に登録されているモニターを対象に平成24年11月に実施し、年齢・性別・地域等を考慮して1,000人を抽出

・有識者モニターに対するアンケート

倫理審査会が公務員倫理モニターとして委嘱した各界の有識者200人（企業経営者、地方自治体の長、学識経験者、新聞社論説委員、労働組合役員、市民団体関係者等）を対象に平成24年11月から12月にかけて実施（回答数193（回答率96.5%））

・民間企業に対するアンケート

東京、大阪、名古屋各証券取引所（１部、２部）上場企業2,408社を対象に、各社の倫理担当役員宛に調査票を送付する方法で平成24年７月に実施（回答数563（回答率23.4%））

・職員に対するアンケート

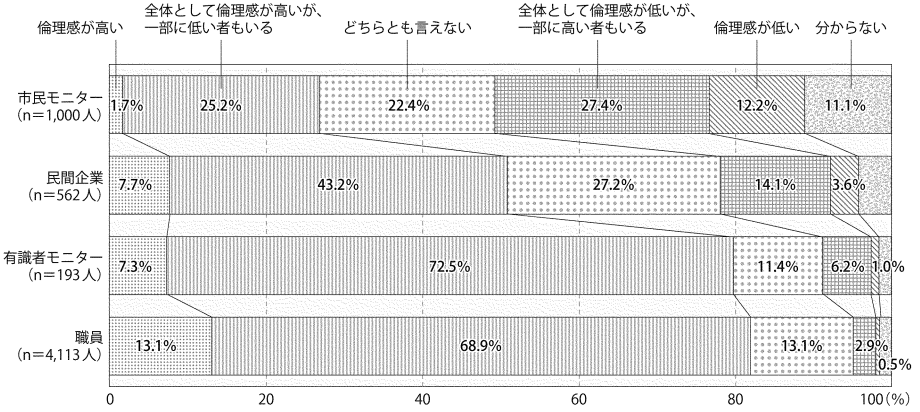
倫理法・倫理規程が適用される一般職の国家公務員のうち、本省・地方機関の別、役職段階等を考慮して抽出した5,000人を対象に平成24年７月に実施（回答数4,115(回答率82.3%)）

ア　国家公務員の倫理感についての印象（各種アンケート結果）

国家公務員の倫理感の印象について質問したところ、職員は、「倫理感が高い」又は「全体として倫理感が高いが、一部に低い者もいる」と好意的な見方をしている者の合計が82.0%、「全体として倫理感が低いが、一部に高い者もいる」又は「倫理感が低い」と厳しい見方をしている者の合計が3.4%と国家公務員の倫理感について最も高い評価をしているのに対し、市民モニターは、好意的な見方をしている者の合計が26.9%、厳しい見方をしている者の合計が39.6%と最も厳しい評価をしている。

なお、民間企業及び有識者モニターでは、好意的な見方をしている者の合計はそれぞれ50.9%、79.8%、厳しい見方をしている者の合計はそれぞれ17.7%、7.2%であった（図１）。

図１　国家公務員の倫理観について、現在、どのような印象をお持ちですか。



（注）１　n：有効回答者数（以下同じ）
２　市民モニター以外の「分からない」は数値を省略した。

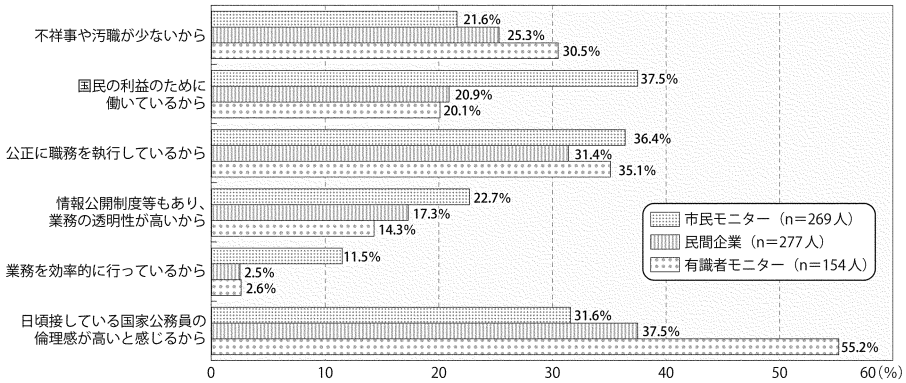
イ　国家公務員の倫理感についての印象を回答した理由（市民モニター、民間企業及び有識者モニターアンケート）

国家公務員の倫理感の印象について、その回答の理由について質問したところ、市民モニターでは、好意的な見方をした理由は、「国民の利益のために働いているから」が最も多く、「公正に職務を執行しているから」が続く結果となった。一方、厳しい見方をした理由は、「国民の利益よりも自分たちの利益を優先しているから」が最も多く、次いで、「税金の無駄遣いが多いから」が多い結果となった。

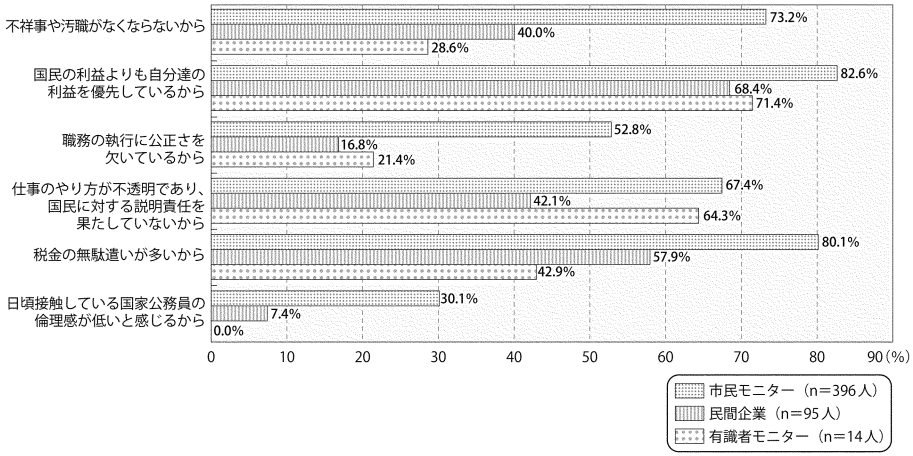
また、民間企業及び有識者モニターでは、好意的な見方をした理由は、「日頃接している国家公務員の倫理感が高いと感じるから」が最も多い結果となった。一方、厳しい見方をした理由は、市民モニターと同様に、「国民の利益よりも自分たちの利益を優先しているから」が最も多い結果となった（図２）。

図２　国家公務員の倫理感についての印象を回答した理由

■「倫理感が高い」、「全体として倫理感が高いが、一部に低い者もいる」と答えた理由（複数回答）



■「倫理感が低い」、「全体として倫理感が低いが、一部に高い者もいる」と答えた理由（複数回答）



第明治三十五種郵便物認可　三月三十一日